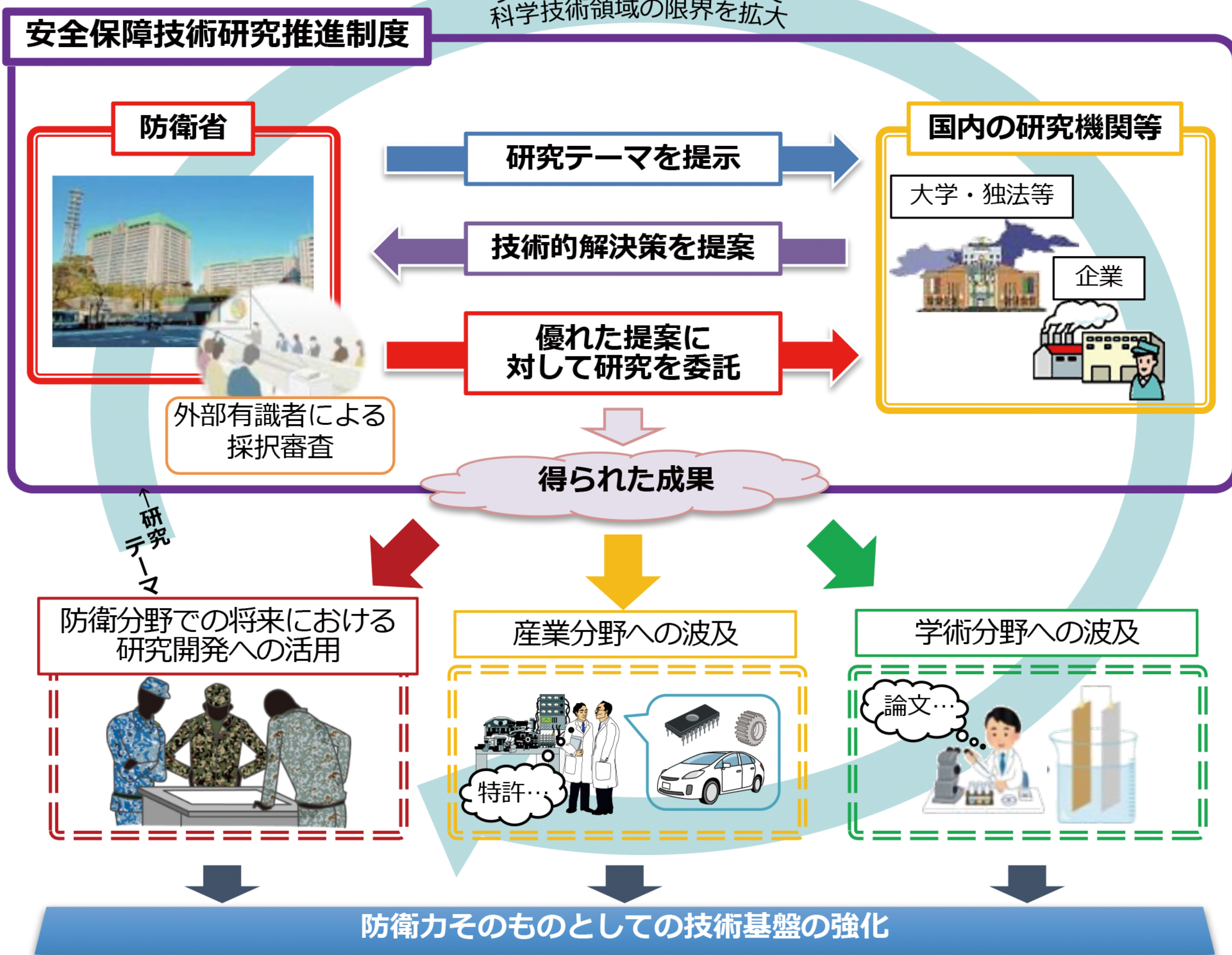


安全保障技術研究推進制度

概要

- **先進的な基礎研究を公募・委託する競争的研究費制度**です。
補助金ではなく、ご所属の研究機関と防衛装備庁との間で**委託契約を締結**します。
- 外部有識者による審査の上、採択する研究課題を決定します。特に、**革新性と成果の波及効果を重視**しており、真理の探究のみを目的とした純粋な学術研究を望んでいるものではありません。
- 中長期的観点から、有望な萌芽的技術を先手を打って発掘・育成することにより、新たな技術基盤を創り、将来にわたって **我が国の技術的優越を確保**することを狙っています。
- いわゆるハイリスク研究も大いに推奨しており、たとえ目標自体が未達成でも、**副次的な成果や波及効果の大きい成果があれば評価**されます。
- 民生分野において更に研究が進展することを期待する観点から、**研究成果は積極的に公表**することを推奨しています。

サイクルを繰り返すことで
科学技術領域の限界を拡大



ポイント

- ✓ **研究への介入なし。研究成果について公表制限なし。**
- ✓ **日本版バイ・ドール規定に基づき、特許権等の知的財産権を受託者に帰属させることが可能。**
- ✓ **特定秘密を始めとする秘密を受託者に提供することはありません。**
- ✓ **研究成果を特定秘密を始めとする秘密に指定することはありません。**



詳細はWEBにて公開中

防衛装備庁 ファンディング

公募区分

※令和5年度の公募は既に終了しています。令和6年度の公募時期は来年1月以降を予定しています。

区分	大規模研究課題	小規模研究課題	
	タイプS	タイプA	タイプC
研究期間	最大5か年度	最大3か年度	
1件当たりの研究費 (下限なし)	最大20億円/5年	最大5,200万円/年	最大1,300万円/年
各タイプの特徴	提案されたアイデア等を具現化し、その可能性と有効性を実証するところまでを目指した基礎研究が対象	新規性、独創性又は革新性のある、研究テーマに合致した基礎研究が対象	より一層、独創的なアイデアに基づいた基礎研究が対象
競争倍率 (応募数/採択数) (過去3年分の平均)	3.2倍	7.3倍	4.2倍
※令和6年度はタイプA及びCの予算を増額することを計画中			

本制度は、SBIR制度(中小企業技術革新制度)の指定補助金等に指定されています。SBIR制度とは、スタートアップ等による研究開発とその成果の事業化を支援する内閣府の制度です。詳細については、特設サイト(<https://sbir.csti-startup-policy.go.jp/>)をご覧ください。